

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	看護学生の手術台上での臥床体験が、手術室での患者の不安軽減に向けた患者ケアに及ぼす効果
研究責任者	医学部看護学科 臨床看護学講座 教授 森 恵子
研究機関名	浜松医科大学医学部看護学科
研究目的と意義	本研究の目的は、急性期看護学実習において、手術室オリエンテーション時の手術台上での臥床体験が、看護学生の手術室での患者の不安軽減に向けた患者ケアにどのような影響を及ぼしているかについて明らかにすることである。学部学生にとって緊張を伴う手術室での実習が、学生にとって効果的な学びとなるよう、また担当させていただく患者にとって不安軽減に向けた有効なケア提供につながると考える。
研究期間	倫理委員会承認後 ～ H28 年 10 月末日
研究方法	<p>●対象となる学生：H26 年 11 月から H27 年 7 月の期間に、浜松医科大学医学部看護学科急性期看護学実習を行った学生 55 名。</p> <p>●研究に使用する試料： 浜松医科大学医学部看護学科の急性期看護学実習を行った学生から提出された、「手術室オリエンテーション時に手術台の上で臥床体験をしたことが、患者の麻酔導入までの不安軽減への援助に、どのように役立ったか」のレポート 55 名分。</p> <p>●研究方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究デザイン：レポート分析 2. データ収集方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) データ収集場所：浜松医科大学医学部看護学科 2) 研究期間：倫理委員会承認後～平成 28 年 10 月末日。 3) 研究対象 <p>浜松医科大学医学部看護学科において、H26 年 11 月から H27 年 7 月の期間に、急性期看護学実習を行った学生 55 名から提出された、「手術室オリエンテーション時に手術台の上で臥床体験をしたことが、患者の麻酔導入までの不安軽減への援助に、どのように役立ったか」のレポート課題を分析対象とする。</p>

	<p>4) 研究対象の選定方法</p> <p>浜松医科大学医学部看護学科において、H26年11月からH27年7月の期間に急性期看護学実習を行った学生55名から提出されたすべてのレポート(55名分)を分析対象とする。なお、浜松医科大学「看護研究に関する倫理審査部会」(浜松医科大学医の倫理委員会)において承認を得た後、学生の課題レポートを研究対象とし、分析を行う。</p> <p>5) 分析方法</p> <p>H26年11月からH27年7月の期間に急性期看護学実習を行った学生55名から提出された「手術室オリエンテーション時に手術台の上で臥床体験をしたことが、患者の麻酔導入までの不安軽減への援助に、どのように役立ったか」のレポート課題を分析データとして、Krippendorffの内容分析の手法を用いて、質的帰納的に分析を行い、手術室オリエンテーション時の手術台上での臥床体験が、看護学生の手術室での患者の不安軽減に向けた患者ケアにどのような影響を及ぼしているかについて明らかにする。なお、分析にあたっては、質的研究の専門家からスーパーバイズを受けると共に、研究者間で分析結果についてディスカッションを行い、分析内容の信用性の確保に努める。</p> <p>IV. 倫理的配慮</p> <p>データの分析に際しては、浜松医科大学「看護研究に関する倫理審査部会」(浜松医科大学医の倫理委員会)において承認を得る。</p> <p>V. プライバシーの保持および個人情報の保護</p> <p>個人のプライバシーの保護と個人情報保護に細心の注意を払い、提供されたデータは研究目的以外に使用しないことを約束する。また個人が特定されないように個人名はコード化し、連結不可能匿名化する。課題レポートは鍵のかかる場所に別々に保管し、研究終了後にシュレッダーにかけ処分する。</p> <p>VI. 研究成果の公表</p> <p>研究の成果については、専門の学会・学会誌等で公表する。公表時には個人が特定されないよう細心の注意を払う。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部看護学科 臨床看護学講座 担当者：森恵子 TEL：053-435-2828 FAX：053-435-2828 E-mail：keimori@hama-med.ac.jp</p>